**はじめに**

　平成３０年９月６日に発生した北海道胆振東部地震では、多くの方々が犠牲になり、全道各地に大きな被害がもたらされました。特に、被害が甚大であった安平町、厚真町、むかわ町においては、災害ボランティアセンターが開設され、また、それ以外の都市でも必要に応じたボランティア活動が展開されてきました。

遡って平成２８年８月から９月にかけて、北海道を襲った台風等による大雨において、全道各地に大きな被害がもたらされました。特に、被害が甚大であった上川管内南富良野町、十勝管内新得町、清水町、芽室町では、河川氾濫等により市街地を始め、町内各地の住宅等が水に浸かるなど、住民の暮らしや、地域活動、経済に大きな影響を与えました。

これらの町では被災後まもなく、災害ボランティアセンターが設置され、全国各地からのボランティアの協力を得ながら、早期の復旧につなげたところですが、センターの運営やボランティアの受け入れ、関係機関との連携など、試行錯誤の中での取り組みでした。

ボランティアによる被災者支援の起源は、平成７年の阪神・淡路大震災と言われています。それ以降、全国で発生する大規模な災害では、被災地の社会福祉協議会などに「災害ボランティアセンター」が設置され、ボランティア活動が円滑に進められるようになってきました。本道においては、平成１２年の有珠山噴火で約１万人弱のボランティアが活動した事例がありますが、現在の様な「災害ボランティアセンター」の仕組みは完全には確立されておらず、平成２８年大雨等災害でのボランティア活動が、現在の災害ボランティア体制の始まりとも言えます。

これまで災害ボランティアセンターの運営は、被災地内に限らず、全道、全国の様々な方々の支援により、長期に渡って支えられてきましたが、同時多発的・広域に災害が発生した場合、外部からの支援を安定して得られないケースも考えられます。

こうしたことを受け、北海道災害ボランティアセンター（北海道社会福祉協議会）では、平成28年の大雨等災害の教訓により、被災地が自らの力で災害ボランティアセンターを構築できるよう、災害ボランティアセンターの設置・運営の考え方を示すこととし、平成３０年３月に本書（第１版）を策定しました。

現段階で北海道胆振東部地震の３町災害ボランティアセンター活動は継続中であり、今後その振り返り内容を加え改訂する予定がありますが、いち早く活動の教訓を活かすべく現段階で可能な改定を行い、この度第２版を作成いたしました。

本書の特徴は、いわゆる市町村名だけを埋め込む簡易なマニュアルではなく、それぞれの項目を理解した上で策定する「考え方ガイド」になります。

これは、災害の種類や支援ニーズが多種多様であることや、北海道特有の四季への対応、地域事情が大きく違う事から、マニュアル記載以外のことに臨機に対応できないことを回避するものであり、市町村、関係機関と災害ボランティアセンターを設置する機関が、話し合いをしながら各市町村に合った災害ボランティアセンター運営マニュアルを作りこむことが必要になってきます。

　本書が、災害ボランティア活動を速やかに行い一日も早い復旧ができる体制を全道に整備する一助になれば幸いです。

平成３１年３月

北海道災害ボランティアセンター

社会福祉法人　北海道社会福祉協議会

目　　次

はじめに

**Ⅰ　災害ボランティアセンターの基本的事項**

１　目的・機能………………………………………………………………………Ｐ１

**Ⅱ　災害ボランティアセンターの設置運営**

１　設置について

（１）設置主体　……………………………………………………………………Ｐ３

（２）設置判断　……………………………………………………………………Ｐ４

　（３）設置場所　……………………………………………………………………Ｐ５

（４）運営資金　……………………………………………………………………Ｐ７

（５）活動資機材　…………………………………………………………………Ｐ８

２　運営について

（１）組織体制　……………………………………………………………………Ｐ１１

（２）運営スタッフ　………………………………………………………………Ｐ１１

（３）一日のタイムスケジュール　………………………………………………Ｐ１２

（４）センター運営方針の決定……………………………………………………Ｐ１３

（５）各班の業務内容　……………………………………………………………Ｐ１３

（６）センター内レイアウト　……………………………………………………Ｐ２１

（７）閉所判断　……………………………………………………………………Ｐ２２

　（８）行政、地元の団体・ボランティア、

ＮＰＯ等民間支援団体との連携について…………………………………Ｐ２４

**Ⅲ　関係資料集**

１　様　式【例】……………………………………………………………………Ｐ２６

２　参考資料　………………………………………………………………………Ｐ４３